

日本鉄鋼協会記事

第3回理事会 日時：31—4—20 (金) 会場：協会々議室。出席者：志村副会長、芥川、浅田、入、河上、西郷(代)、田畑各理事。三島、山岡、田中各前会長。橋本事務局長

報告事項：Ⅰ. 名譽会員伍堂卓雄氏逝去の件。Ⅱ. 東北支部役員更送の件。Ⅲ. 春季大会に関する件。Ⅳ. 日本学術会議総会の件。Ⅴ. 大河内記念賞受賞者決定の件。

協議事項：Ⅰ. 理事分掌事項の件—庶務、西郷理事。会計、浅田理事、岡村理事。編集、芥川理事、河上理事。企画入理事、田畑理事、芥川理事(兼)。それぞれ分掌のことに決定。Ⅱ. 常務委員及び編集委員選任の件—常務委員は伊木常世君(会計)、佐藤忠雄君(編集)、横山均次君(編集)、俵 隆治君(企画)、橋口隆吉君(編集)、吉崎鴻造君(企画)(以上重任)、辻畑敬治君(庶務)、長谷川正義君(編集)、三橋鉄太郎君(企画)、森永孝三君(企画)、吉田道一君(企画)(以上新任)にそれぞれ依嘱のことに決定。編集委員は内山道良君、沢 繁樹君、松下幸雄君、山木正義君(以上重任)井上孝君、上野 学君、小野六郎君、菊地敏治君、堀川一男君(以上新任)に依嘱のことに決定。Ⅲ. 法人税課税に関する件—昭和26年度及び29年度法人税課税に対し税務署に再審査を申し出づること。Ⅳ. 会員増加運動の件—正会員、学生会員については本年5月～7月に入会するものについては入会金を免除することし、各関係方面に入会の勧誘を依頼すること。維持会員については更に審議のこと。Ⅴ. 品質管理大会参加の件—詳細の判明を待つて次回審議のこと。Ⅵ. 日本原子力産業会議入会の件—見送りのこと。Ⅶ. 国際所有権保護協会入会の件—差当り入会を見合わせる。Ⅷ. 事務局職員採用の件—次回審議のこと。Ⅷ. 3月中入退会その他会員異動の件—承認。Ⅸ. 3月中収支決算の件—承認。

第4回理事会 日時：31—5—11 (金) 会場：八幡製鉄山谷寮。出席者：角野会長、志村副会長、芥川、浅田、入、河上、西郷、田畑各理事。俵、西村各監事。俵、三島、山岡各前会長。俵、辻畑、長谷川、森永、横山各常務委員。中国四国支部長(代)神野理事、蜂谷前副会長、山内前理事、石原前監事。橋本事務局長。

報告事項：Ⅰ. 第2回編集委員会の件(別掲)。Ⅱ. 法人税課税に関する件。

協議事項：Ⅰ. 会員拡大運動実施に関する件。Ⅱ. 維持会員の口数増加並びに新規勧誘につき企画委員会において更に具体案検討のこと。Ⅲ. 講演会開催に関する件—オーストリア、アルピネ鉱山会社技術担当重役オトウィン・クスコレカ氏の“上吹転炉法”に関する講演会を協会主催の下に開催すること。Ⅳ. 品質管理大会参加の件—本年は例年通り参加のこと。Ⅴ. 関西支部より申し出に係る件—日本学術会議原子力特別委員会に代表者を参加せしめる件は時機を待つこと、又本部に原子力に関する委員会設置の件は慎重に研究の上時宜に適した措置をとること。Ⅵ. 高石義雄氏より寄附申し出の件—本年春季大会記録映画及び金5万円の寄附は受納することし金5万円は表彰及び事業資金中に加えること。Ⅶ. 事務局職員採用の件—更に調査の上決定のこと。Ⅷ. 4月中入退会者その他会員異動の件—承認。Ⅸ. 4月中収支決算の件—承認。Ⅹ. (追加)第2回世界冶金会議の件—日本学術会議研究連絡会議に本会代表として芥川、田畑両理事を推薦のこと。

第2回編集委員会 日時：31—4—30 (月) 会場：協会々議室。出席者：芥川理事外12名。

報告事項 1. 編集委員異動報告。2. 4月号は3月31日完成発送済み。3. 5月号は5月2日完成予定。

協議事項 1. 7月号原稿選定の件—選定済み。2. インストックに提供する科学情報の資料寄贈方依頼の件(国立国会図書館より)：—第2のゲラ刷目次を送ること。3. ソビエト機械技術文献最新号の目次(森一美君翻訳寄稿)：—参考資料として受理のこと。4. Tetsu-to-Hagane Abstracts No. 4. 口絵その他に関する件：—口絵は主要研究所の内部の写真を掲載のこと。技術概観の執筆は会長にお願いすること。5. 本年春季講演大会講演中より現場的に重要なものを選定し、論文とし速に会誌に掲載の件：—下記番号の講演者に速に執筆を依頼すること。

(13, 18, 28, 29, 32, 33, 38, 58, 59, 62, 63, 67, 68, 71, 77, 78, 92, 102, 103)

第3回編集委員会 日時：31—5—22 (火) 会場：協会々議室。出席者：河上益夫理事外9名。

報告事項 1. 5月号は5月4日完成発送済み。2. 6月号は5月30日完成予定。3. 寄稿を依頼した著者より、現在まで承諾の回答ありたるもの7、否1。

協議事項 1. 8月号原稿選定の件：選定済み。2. 6月の編集委員会開催日の件—6月26日(火)熱海市早大寮にて開催のこと。3. 造船協会賞受賞候補者推薦依頼の件—下記の7論文(省略)を理事会の議を経て推薦のこと。4. 技術資料追加の件—“ワイヤロープ”を西岡多三郎氏に、“砂鉄銃”を佐々川清氏に執筆依頼のこと。5. La Metallurgie より会誌交換申出の件—交換のこと。

特別講演会 5月24日、午後3時半より東京大学工学部大講堂において講演会開催、次の講演があつた。当日悪天候にかゝらず約200名の参加者があり盛会であつた。

上吹転炉法について：オーストリア、アルピネ鉱山株式会社技術担当重役オトウィン・クスコレカ氏

寄 附 大阪製鋼株式会社社長高石義雄氏より本会に対し、本年春季大会記録映画1巻並びに金5万円の寄附申

出であつたので、理事会の議を経てこれを受領し、金5万円はこの度新設の表彰及び事業資金中に加えることになつた。

新しくきまつた JIS (鉄鋼関係)

(昭和 31 年 1 月 26 日第 4 回調整委員会で決定)

G 0551—1956 鋼のオーステナイト結晶粒度試験方法 新規

従来、結晶粒度試験は浸炭方法によるだけであつたが、熱処理を行うさいの粒度も必要なので、それをも規格化して5方法に分けた。なお混粒の規定、粒度の判定を設け、表示については煩雑をいとわず具体的に例示した。

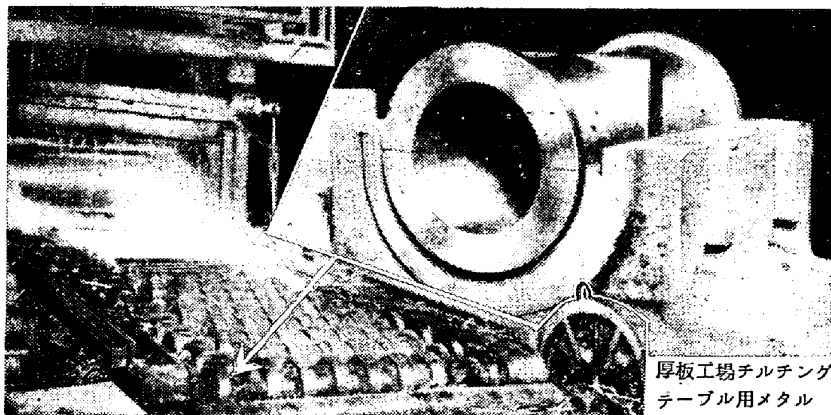
G 0561—1956 鋼の焼入性試験方法 (一端焼入方法) 新規

鋼のHバンドを標準化する目的で、普遍的なジョミニー試験方法 (インチ制) を採用した。ただし JIS としてはメートル法に換算した。試験片は標準のものについてのみ規定し、その他の試験片は解説で紹介することにし、カタサは両面で測定することにした。

G 4804—1952 硫黄快削鋼 1952 の確認

登録 オイレス 商標

特許 井 300 含油鉄材メタル



厚板工場チルチング
テーブル用メタル

特徴 1. 高温度に特に優秀. 2. 寿命四
~五倍. 3. 注油回数が減る. 4.
焼付が生じない.

適用 1. 高温で注油の効果なき所.
2. 取替又は故障の多い所.
3. 注油困難又は危険な所及高所等

生産能率の増進は

機械の稼働率の向上から

御一報により説明書送ります。
場合により説明に参上します。

日本オイレスベアリング研究所
代理店

三和機械株式会社

東京都千代田区神田佐久間町3-24
電話 下谷 (83) 7 4 2 6 番